



至誠

勝田第三中学校 学校だより 第32号
令和8年3月4日(水)発行
文責:校長 川上徹行



勝田三中HP

たくさんの地域の方々に支えられていることを、実感いたします！

ようやく寒さもひと段落かと思いきや、昨日は雪に変わりそうな冷たい雨となり、春の訪れはもう少し先ようです。そんな季節の移ろいの中、キャリア教育の一環として、1年生は26日に「職業人の話を聴く会」を、2年生は27日に「卒業生の話を聴く会」を実施しました。2年生には本校卒業生12名、1年生には本校学区にゆかりのある8名の職業人の皆様にご来校いただき、生徒たちの学びのために貴重なお話をいただきました。学習方法や上級学校の特色、仕事内容や収入のことなど、生徒たちは今抱えている疑問を積極的に質問し、真剣なまなざしで耳を傾けていました。その姿からは、自らの将来について主体的に考え、一歩踏み出そうとする前向きな気持ちが確かに感じられました。



多くの地域の皆様に支えられながら、本校の学びが成り立っていることを改めて実感しております。ご多用の中、本校生徒のために駆けつけてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

2年生、1年生の皆さんも、いつの日か先輩方のように、自らの経験を語り、後輩たちの背中を押す存在になる日が来ることでしょう。その日を楽しみにしています。



↑ 卒業生の話に耳を傾ける2年生



職業人の話を聴く1年生 ↑

○ 県立高校学力検査(2/26,27)を無事に終えた3年生、三中を「巣立つ」日も近くなってきました。



先週の県立高校学力検査を終えて、卒業式の練習や中学校生活のまとめに取り掛かっている3年生。お世話になった校舎を、隅々まできれいにする活動も行っています。勝田三中への登校日数は、卒業式を含めて残り4日。「有終の美」が飾れるよう、引き続き生徒たちを応援していきます。

○ 前渡小で「出前授業」をしてきました。

先週、多くの3年生が県立高校の学力検査を受けに行っていた26日

に、3年生担任の4人の先生方が6年生を対象とした「いよいよ中学生」という学級活動の授業(様々な社会的能力育成のための「社会性と情動の学習」)を実施してきました。

前渡小児童からは、「三中進学に不安があったが、今回いろいろ学べて、4月以降が楽しみになりました。」等の感想が多く寄せられました。新入生の入学が楽しみです。

